

会議名	第1回港区立生涯学習施設指定管理者候補者選考委員会
開催日時	平成30年4月5日(木)午後6時～午後7時半
開催場所	生涯学習センター会議室
委員	(出席者) 渋谷委員長、坂本委員、岩崎委員、倉持委員、新宮副委員長、金田委員、大久保委員
事務局	生涯学習スポーツ振興課長木下、生涯学習係長庄司、穀山係員
会議次第	1 開 会 2 教育委員会事務局教育推進部長のあいさつ 3 委嘱状の交付 4 委員自己紹介 5 議 題 (1) 委員長の選出 (2) 公募要項(案)について (3) 評価基準(審査票(案))について (4) その他 6 閉 会
配布資料	【席上配布】 資料1 港区立生涯学習施設指定管理者候補者選考委員会設置要綱 資料2 選考委員会委員一覧 資料3 指定管理者公募要項(案)一式 資料4 指定管理者候補者選考に係る審査票(案)
会議の結果及び主要な発言	
委員長	1 開 会 2 教育委員会事務局教育推進部長のあいさつ 3 委嘱状の交付 4 委員自己紹介 5 議 題 (1) 委員長の選出(渋谷委員が委員長に選出、全委員が承認する。) 5 議題 (2) 公募要項(案)について 事務局から説明をお願いします。
事務局	(公募要項等に沿って説明する。)
委員長	各委員から質問等がありますか。
委員1	今回公募要項を作成する際に新たに盛り込んでいる部分はありますか。
事務局	前回の公募と異なる部分として、東京2020オリンピック・パラリンピック競技大会の開催があります。今回の公募につきましては、新たに東京2020オリンピック・パラリンピック競技大会の気運醸成等に関する内容を盛り込んでいます。
委員2	公募要項に災害、防災対策についての記載がありますが、この数年、区では帰宅困難者対策として駅周辺滞留者対策を進めています。生涯学習センターは区民避難所となっていますので、新橋駅周辺滞留者対策推進協議会とも協力して訓練を行うというような文言を追加した方がよいと思います。
事務局	御意見ありがとうございます。公募要項に追加させていただきます。
委員長	そのほかいかがでしょうか。ほかに意見などはございますか。 では、議題(2)公募要項については先ほどの駅周辺滞留者対策の文言を追加してそのほかは原案どおりでよろしいでしょうか。
	(全委員了承)
委員長	5 議題 (3) 評価基準(審査票(案)) 事務局から説明をお願いします。

事務局	(事務局が審査票に沿って説明する。)
委員長	何か意見はありませんでしょうか。
委員 3	現在の指定管理者に対する第三者評価は実施しましたか。第三者評価を実施したのであれば、第三者評価書を見ることは可能でしょうか。
事務局	現在の指定管理者に対しては、第三者評価を実施しましたので、別途各委員に第三者評価書を送付いたします。
委員 4	加点について、3倍になっているところがありますが、3倍にした理由を教えてください。
事務局	3倍の加点については、生涯学習推進計画に加え、基本計画で記載されているものについて加点しています。
委員長	そのほかいかがでしょうか。ほかに意見などはございますか。 では、議題(3)評価基準(審査票(案))については原案どおりでよろしいでしょうか。
	(全委員了承)
委員長	5 議題 (4) その他 事務局から説明をお願いします。
事務局	(事務局から今後のスケジュールを説明)
委員長	6 閉会

会議名	第2回港区立生涯学習施設指定管理者候補者選考委員会
開催日時	平成30年6月12日(火)午後5時半～午後7時
開催場所	区役所5階 511会議室
委員	(出席者) 渋谷委員長、坂本委員、岩崎委員、倉持委員、新宮副委員長、金田委員、大久保委員
事務局	生涯学習スポーツ振興課長木下、生涯学習係長庄司、穀山係員
会議次第	1 開会 2 議題 (1) 応募事業者財務状況分析等について (2) 第1次審査採点表集計結果について (3) 第1次審査通過団体の決定について (4) 第2次審査について (5) 第1次審査通過団体への通知について (6) その他 3 閉会
配布資料	【席上配布】 資料1 財務状況分析報告書 資料2 資金計画分析報告書 資料3 第1次審査結果表集計表 資料4 第2次審査スケジュール(案) 資料5 第1次審査結果通知文(案) 資料6 第2次審査票(参考) 資料7 第1回港区立生涯学習施設指定管理者候補者選考委員会議事録
会議の結果及び主要な発言	
委員長 公認会計士	1 開会 2 議題 (1) 応募事業者財務状況分析等について 公認会計士が報告書に基づき報告 財務状況分析は「事業者A」、「事業者B」ともに結果は「可」 資金計画分析は「事業者A」、「事業者B」ともに結果は「B」
委員長	2 議題 (2) 第1次審査採点表集計結果について 事務局から説明をお願いします。
事務局	(事務局から審査票集計結果を説明。事業者A1,117点、事業者B896点)
委員長 委員5	各委員より各事業者の講評をお願いいたします。 全体的に事業者Aは、提案の内容が、具体的な記述があり、とても丁寧でわかりやすく記述されていました。事業者Bは、全般的に提案自体が具体性に欠ける内容でした。 個別では、事業者Aは、管理運営計画の部分では、震災時も震度6以上の場合に時間外でも参集するなどの提案があり、管理運営計画に関する面では、とても安心感がある提案でした。効率的で質の高いサービスの提供の部分では、企業との協働や、オリンピック・パラリンピックに向けての取組など、今の時流に合った提案を評価しました。また、新橋と青山、2カ所の生涯学習施設の、それぞれ特性を生かし、施設ブランド価値を高める提案をしているという点を評価しました。 事業者Bについては、管理運営計画で職員の配置がとても手厚いという部分は評価します。また、広報業務の考え方については、施設ごとに施設だよりを出す提案は評価しました。

委員 2	<p>全体的に事業者Aの方が提案内容が具体的でした。事業者Bは、提案内容に具体的な記載がありませんでした。</p> <p>個別では、事業者Aは、職員の人材育成や苦情解決、また、防災や危機管理、施設の管理運営において、基本方針とともに有効な取組を示していました。また、特徴的な点としては、地震や防災対応において、事業者Aと区や地域の団体、関係機関との連携を踏まえた具体的な方策を示している点を評価しました。</p> <p>事業者Bは、苦情解決、サービス評価という点では、事業者Aと同様に、具体的な方策を示していましたが、地震や防災対応においては、具体的な方針、取組の提案がありませんでした。効率的で質の高いサービスの提供についても、事業者Bは、全体を通して基本的な方針を示しておらず、実施方法など具体的な方策も示していませんでした。</p>
委員 1	<p>全体的に事業者Aの方がより具体的で、事業者Bに関しては具体性に欠ける提案でした。</p> <p>個別では、事業者Aは、法人全体として、類似施設の運営実績が非常に豊富なことを評価しました。管理経費については、事業者Bとの比較で見ると、比較的安価だという点を評価しました。管理運営に関しては、危機対応等については、具体的な提案を評価しました。効率的で質の高いサービスの提供については、特に社会教育団体、企業や商店街など多様な主体との協働事業の提案を評価しました。地域資源を生かして、子どもから高齢者、外国人までが楽しめるような提案でした。ホームページのリニューアルに関する提案についても評価しました。</p> <p>事業者Bは、生涯学習分野の運営実績について不安に感じました。省エネの取組については具体的で実効性のある内容でした。効率的で質の高いサービスの提供については、一般的な内容の羅列で、もう一步踏み込んだ提案があれば良かったです。特に自主事業は独自性が出せるところであるにもかかわらず、個別講座が羅列されているだけでした。</p>
委員 3	<p>事業者Aは非常に具体的な提案内容が記載されています。地域との結びつき、特に区民協働は提案としてしっかり記載されています。防災やコンプライアンスに対しても、非常に高く評価しました。効率的で質の高いサービスの提供の部分では、ICTの活用についてとても具体的に記載されている点を評価しました。生涯学習に関する調査研究の提案については、潜在的ニーズをしっかりと重視して、そこに焦点を当てて調査をしようとしていることは、大変大事ですので、こういう視点があるのはとても高く評価しました。</p> <p>事業者Bについては、管理運営の専門的な職員配置の部分で、事業者Aは、社会教育主事の資格を持った人が1人なのに対して事業者Bの方は、社会教育主事などという記載ですが、3名以上の配置にしていることは評価しました。</p>
委員 6	<p>全体的な印象として、事業者Aは具体的な提案があり、写真なども多数使って非常に提案がわかりやすかったです。それに対して事業者Bは、書類自体が羅列的で表面的になってしまい、具体性が乏しかったです。管理運営で職員配置や専門性ということに関しては、やや事業者Bの方が、複数有資格者を配置していたり、研修の内容も充実していたので評価しました。</p>
委員 4	<p>全体的には事業者Aの方を高く評価しました。</p> <p>事業者Aは、様式ごとにインデックスがあり、見やすかったです。具体的には、効率的で質の高いサービスの提供については、生涯学習に関する調査研究の提案を評価しました。</p> <p>事業者Bに関しては、管理運営で職員配置や専門性において、専門性を持った職員を配置する点や研修も充実していた点を評価しました。また、苦情解決や環境への配慮の提案も評価しました。効率的で質の高いサービスの提供については、施設だよりを配布する提案を評価しました。</p>

<p>委員長</p>	<p>全体的に、事業者Aの方を高く評価いたしました。</p> <p>事業者Aについては、様々な記載の中で、一貫した生涯学習に関する取組の全体像が見えていたという点と、地域社会の理解を踏まえた連携の様々な方策が出されていたという点、さらに、地震防災等の取組について、具体的な提案があったという点を評価いたしました。また、美術館との連携や企業との連携の具体的な提案、オリンピック・パラリンピックの提案など時代に対応した提案を評価しました。ただ、事業者Bと比べ、研修テーマの面では工夫が必要であると感じました。</p> <p>事業者Bについては、社会教育主事や司書などの配置や研修内容を評価しました。ただ、様々な面で具体性に欠けている点、自主事業の提案についても、現代的なニーズ、社会的な課題への対応ということではなく、個別のプログラムが羅列されているだけでした。調査研究についても、具体性がありませんでした。</p> <p>以上、各委員の意見をまとめてみますと、全体的に事業者Aの方が具体性があり、より詳細な事業計画、実現可能な方策といったものが描かれていたとの意見が多く、事業者Bはその点に対して具体性がないという意見が多くありました。</p> <p>個別では、事業者Aは、特性を生かした施設運営、危機管理・防災の面の取組、地域との連携、時代に対応した事業提案などについて多くの委員から好意的な意見がありました。</p> <p>事業者Bは、基本的な方針や、詳細な事業計画がないということが多くの委員から意見がありました。ただ、専門性という意味で、職員の配置や研修については好意的な意見がありました。</p>
<p>委員長</p>	<p>2 議題</p> <p>(3) 第1次審査通過団体の決定について</p> <p>応募事業者財務状況分析等及び第1次審査採点表集計結果に基づき、第1位を「事業者A」、第2位を「事業者B」とします。</p> <p>なお、今回の選考対象団体は2団体であるため、すべて第2次審査を実施したいと思いますが、いかかでしょうか。</p> <p>(全委員了承)</p>
<p>委員長</p>	<p>2 議題</p> <p>(4) 第2次審査について</p> <p>(5) 第1次審査通過団体への通知について</p> <p>事務局から説明をお願いします。</p>
<p>事務局</p>	<p>(事務局から第2次審査、第1次審査通過団体への通知について説明)</p> <p>(全委員了承)</p>
<p>委員長</p>	<p>2 議題</p> <p>(6) その他</p> <p>事務局から説明をお願いします。</p>
<p>事務局</p>	<p>(事務局から今後のスケジュールについて説明)</p>
<p>委員長</p>	<p>3 閉会</p>

会議名	第3回港区立生涯学習施設指定管理者候補者選考委員会
開催日時	平成30年7月3日(火) 午後1時～午後3時半
開催場所	区役所9階 915会議室
委員	(出席者) 渋谷委員長、坂本委員、岩崎委員、倉持委員、新宮副委員長、金田委員、大久保委員
事務局	生涯学習スポーツ振興課長木下、生涯学習係長庄司、穀山係員
会議次第	1 開会 2 議題 (1) 第2次審査の実施について (2) 第2次審査の採点について (3) 港区立生涯学習施設指定管理者候補者の決定について (4) その他 3 閉会
配布資料	【席上配布】 資料1 第2次審査票 資料2 タイムスケジュール 資料3 港区立生涯学習施設指定管理者候補者選考委員会審査結果 資料4 第2回港区立生涯学習施設指定管理者候補者選考委員会議事録
会議の結果及び主要な発言	
委員5	1 開会 2 議題 (1) 第2次審査の実施について (事業者A入室、プレゼンテーション) (ヒアリング)
事業者A	ICT担当者について提案がありましたが、どのようなスキルを持っている人材を想定しているか詳しくお聞かせください。
委員5	提案書の中に来日する外国人に対して日本文化のすばらしさをわかりやすく伝える事業がありますが、具体的に外国人にはどのようにお知らせをするかお聞かせください。
事業者A	施設のホームページ等で知らせる予定です。
委員3	専門員コーディネーターの配置について、専門員の内容についてお聞かせください。
事業者A	社会教育主事の有資格者の配置を想定しています。
委員3	青山生涯学習館の図書室に司書は配置する想定ですか。
事業者A	図書室に司書を配置する予定はありませんが、港区の図書館や周辺の美術館と連携・協力し図書室運営を行う予定です。
委員3	デジタルアーカイブについて具体的にお聞かせください。
事業者A	現在、語り部の出前講座という事業を行っています。その中で戦争の実体験の講座について映像化し、アーカイブとして残し、ホームページなどで公開していくことを想定しています。
委員2	提案書の中の人材登録バンク「語りすと」についてお聞かせください。特に港区で実施している生涯学習講座提供事業(以下「まなび屋」という。)との違いもお聞かせください。

事業者 A	まなび屋との関連はかなり近いものがあります。ただ、まなび屋とは異なり、企業や大学などに属している、または属していた、そういう専門的な知識を持った方を組織化して生かすことを想定しています。また、まなび屋とは異なり、学校を中心に出張することを想定しています。
委員 4	地域課題を解決するための講座や事業があるかお聞かせください。
事業者 A	事業の中には盛り込んでいませんが、青山・赤坂地区にお住いの方は歴史に対して大変興味があります。そのような方々に対し、今後はアプローチしていくことを考えています。
委員長	コーディネーターの役割についてお聞かせください。
事業者 A	コーディネーターは、生涯学習団体に対し出張を行い、さきほど委員からも地域課題の質問がありましたが、各団体で課題になっていることについて相談に乗ったり、生涯学習のやり方や進め方についてアドバイスをを行うことを想定しています。 (事業者 A 退室) (事業者 B 入室、プレゼンテーション) (ヒアリング)
委員 3	区民協働についてお聞かせください。
事業者 B	社会教育関係団体とともに講座を開催することを想定しています。
委員 3	青山生涯学習館の図書室には司書を置く予定ですか。また、デジタルアーカイブについてお聞かせください。
事業者 B	青山生涯学習館の図書室には司書を置く予定です。デジタルアーカイブは、他の図書館と連携を図りながら、充実していきたいと考えています。
委員 3	I C T の活用についてお聞かせください。
事業者 B	ホームページのリニューアルを考えています。
委員 1	外国人向けのボランティア活動支援について具体的にお聞かせください。
事業者 B	まなび屋などの既存の事業と一緒に実施することを想定しています。周知については、ミナトマンスリーを中心に行うことを想定しています。
委員 5	医療と福祉に大変強みがあることはわかりましたが、生涯学習となると対象者がより幅広くなります。そういう事業を手がけられた経験はこれまでありますか。
事業者 B	いきいきプラザを運営するに当たり、様々な事業展開をしております。いきいきプラザが高齢者を対象とした介護予防の施設ということで、年齢が限定された中ではありますが、カフェコンサートやハーバリウムの講座などを実施しています。
委員 5	若者向けの講座の具体例をお聞かせください。
事業者 B	ヨガやピラティスなどの運動系や音楽のコンサート、参加型の音楽コンサートなどを考えております。
委員 4	I C T の活用について、セキュリティーについてお聞かせください。
事業者 B	港区の条例や規則に基づき実施していくことを想定しています。また、セキュリティーの定期的な研修も実施する予定です。
委員長	青山生涯学習館の特質を踏まえた上で、どのような事業展開の可能性を考えているかお聞かせください。また生涯学習センターとの連携による効果をどのように想定しておられるのかもお聞かせください。
事業者 B	青山生涯学習館に関しましては、事業というよりは貸室、図書室の利用促進がメインになると考えます。生涯学習センターと青山生涯学習館との連携についてですが、生涯学習センターと青山生涯学習館の社会教育関係団体が相互に各施設を利用するなどの連携を考えています。

	(事業者B退室)
委員長	(採点・集計) 2 議題 (2) 第2次審査の採点について (3) 港区立生涯学習施設指定管理者候補者の決定について 事務局から説明をお願いします。
事務局	(事務局から審査票集計結果を説明。事業者A1,662点、事業者B1,337点)
委員長	各委員より各事業者の講評をお願いいたします。
委員3	各委員と同様に全体的に事業者Aの方を高く評価しました。また、地域と連携した事業など区民協働の視点から、事業者Bと比べ事業者Aの評価は高かったです。事業者Bは青山生涯学習館図書室に司書を配置する点は評価しました。
委員4	全体的に事業者Aの方を高く評価しました。事業者Aは生涯学習施設の実績や経験などで安定した施設運営・事業運営ができることを評価しました。なお、職員の研修内容については事業者Bから取り入れられる内容もありますので、今後に期待したいです。事業者Bは、事業の対象者について、全世代に対する大きなビジョンが見えづらかったです。
委員6	各委員と重なりますが、事業者Aの方を高く評価しました。特に美術館、企業など港区の地域資源を生かした事業提案や新橋や青山など港区の地域の特色を生かした事業提案の評価を高く評価しました。事業者Bは事業提案に具体性がなかったことと、対象者が限定されていることに物足りなさを感じました。
委員1	各委員と同様に全体的に事業者Aの方を高く評価しました。事業者Aは具体的に事業を提案していたことや多様な主体に対する事業提案を高く評価しました。事業者Bは具体的な事業提案がありませんでした。
委員2	全体的に事業者Aの方を高く評価しました。事業者Aは2つの施設の立地する地域の特性などを踏まえた運営コンセプトが提案されているところを高く評価しました。事業者Bは、施設運営の中で、もてなす精神、サービスを提供する姿勢については評価しました。
委員5	各委員と同様に全体的に事業者Aの方を高く評価しました。事業者Aは具体的な事業提案や情報発信の提案について高く評価しました。事業者Bは、生涯学習施設の運営実績・経験に不安を感じました。
委員長	各委員と重なりますが、全体的に事業者Aの方を高く評価しました。事業者Aは、事業や防災での地域との連携や各施設間の連携、地域を理解した上での事業提案を高く評価しました。また、幅広い層を対象としたり、オリンピック・パラリンピックなど時代に対応した事業提案も高く評価しました。危機管理についても事業者Bが具体的な提案を示さなかったのに比べ、地域と連携した災害対応など具体的な提案がありました。事業者Bは、具体性に欠く提案が多かったです。また、多様な主体に対しどのように取り組むか、十分に練られていなかったように感じました。
	全体をまとめますと、地域の特性の理解と連携、各施設間の連携、生涯学習における幅広い主体を対象にした事業の実施、事業全体における具体性・実現性などから、数字でも表れておりますが、事業者Aを推される委員の方が多かったと思います。
	以上、これらを踏まえまして、港区立生涯学習施設指定管理者候補者選考委員会として、厳正かつ公正な審査を行った結果として、港区立生涯学習施設指定管理者候補者を「事業者A」に決定してよろしいでしょうか。
委員長	(全委員了承)
委員長	2 議題 (4) その他 事務局から説明をお願いします。
事務局	(事務局から今後のスケジュールについて説明)
委員長	3 閉会